



にかほ 議会だより

11.1 2023
vol.77



10月9日 にかほ市スポレク祭（エスパーク★にかほ会場）

10月9日のスポーツの日に市内運動施設にて「にかほ市スポレク祭」が開催され、多くの市民が汗を流しました。

7月臨時会・9月定例会

臨時会・定例会概要

審議概要と議会の視点 …… 2～6

議案・賛否一覧 …… 7

特集 令和4年度決算 …… 8～11

一般質問 …… 12～14

議場へようこそ …… 15

編集後記ほか …… 16

令和4年度 決算の審議

各会計決算状況

(単位:億円)

会計名	歳入	歳出	収支
一 般	178.5	171.9	6.5
国 保 事 業 事 業 勘 定	27.3	27.0	0.2
国 保 事 業 施 設 勘 定	0.9	0.8	0.1
後 期 高 齢 者 医 療	3.6	3.5	0.1
公 共 下 水 道 事 業	13.0	12.7	0.2
農 業 集 落 排 水 事 業	4.4	4.2	0.2
合 計	227.9	220.4	7.4

会計名	項目	収入	支出
企 業 会 計 水 道 事 業	収益的収支	6.3	6.0
	資本的収支	0.7	2.2

※単位未満：小数点一桁未満切り捨てのため、決算額と一致しない場合がある
企業会計の不足する額は、過年度分損益勘定保留資金などで補てんされた

令和4年度健全化判断比率	早期健全化比率
実 質 赤 字 比 率	13.49%
連 結 実 績 赤 字 比 率	18.49%
実 質 公 債 費 比 率	25.00%
将 来 負 担 比 率	350.00%

《健全化判断比率》

①実質赤字比率…財政規模に対する一般会計等の実質赤字額の割合

②連結実質赤字比率…財政規模に対する全会計の実質赤字額の割合

③実質公債費比率…財政規模に対する借金返済額等の割合

④将来負担比率…財政規模に対する将来負担すべき実質的な負債（市債など）の割合

※実質赤字額 連結実質赤字額がなかったため「－」を記載

令和4年度決算関連
●健全化判断比率及び資金不足比率（市財政の健全性）の報告
実質赤字比率、連結実質赤字比率は全会計で「黒字」。実質公債費比率、将来負担比率ともに増加しているものの「財政が健全とされる範囲」で推移している。

コロナ禍による経済の落ち込みから徐々に回復が見込まれ、市税も4.4%の増加がみられた。しかし、地域経済の回復が不透明で、長期的には人口減少による税収の減少は避けられない。行政コスト抑制に取り組み、持続可能な行財政運営を行ったうえで、健全財政の維持・強化が必要とされる。



議 場

令和4年度決算 全て認定

市議会は7月臨時会（7月26日）、9月定例会（9月1日～9月20日）が招集・開催されました。
7月臨時会では報告2件、一般会計補正予算1件が、9月定例会では、報告3件、令和4年度各会計の決算認定7件、令和5年度各会計補正予算7件、条例制定および改正3件、人事案件4件などを含む議案24件、議提2件が上程され、全て承認、可決、採択としています。

7月臨時会 （令和5年第6回）

◎全市民へ商品券を配布 生活応援商品券事業

8150万円

概要 エネルギーや食料品などの物価高騰による市民生活の負担軽減と消費の支えのため、全市民へ10月中旬から使用できる一人あたり3000円の商品券を配布する。



クーポン見本

9月定例会 （令和5年第7回）

令和4年度一般会計及び特別会計の合計決算額は、歳入歳出額ともに前年度比0.4～0.5%の減となった。主な要因は、新型コロナウイルス感染症対策に係る事業の縮小や、それに伴う特別交付金の減少によるものである。一方、少子高齢化による社会保障費の増大や、社会インフラの老朽化への対応、エネルギー価格の高騰など、課題が重くのしかかる中、市税は前年度比1億2000万円、約4.4%の増加となった。

コロナ禍における施策の効果が目に見えるかたちで表れたものと捉えている。

注目事業の審議・審査

◎旧上郷小学校利活用事業委託 1914万円

概要 関係人口の創出と地域資源、環境を活かした住民との交流拠点整備事業に係る委託料。

Q 選定された業者は、どのような提案が評価されたのか。

A サウンディング調査は2社が行ったが、運営事業者をプロポーザルで募集した際の申し込みは1社のみ。審査の結果、合格点に達したため、その1社に決定した。

議会の視点

これまで説明を受けた内容とやや異なる管理運営になるようなイメージがある。
令和6年4月オープンに向けて準備作業を進めているが、グラウンドの活用方法も含め、地域住民との連携が必要である。

◎若者支援住宅整備測量調査業務（繰越明許） 1128万円

概要 若者支援住宅建設工事に係る造成地などの測量調査業務

議会の視点

当初一般財源で進める計画だったが、財源確保が困難なため、交付金事業に見直し県との協議を進めている。需要の変化もあり、事業規模も今後の協議と見直しとなるが、当初計画からの一連の流れと、要した費用の見える化が求められる。

Q 若者支援住宅の計画に対する実状と今後の計画は。

A 令和4年度では債務負担行為を設定し、PFI事業による契約締結後、100戸の住宅建設を予定していた。昨年12月に金利の引き上げなどにより財源確保が困難なことから、事業の再検討を決定し、現在に至る。現在進めている事業はないが、公営住宅整備、地域優良賃貸住宅建設を公営住宅の制度を活用しながら進められるよう、県と協議をしている。

令和4年度 決算の審議

◎職員採用試験業務委託費

69万円

概要 大卒者向け職員採用試験にSPI総合適正検査を導入しており、リクルートグループが提供する就職ポータル「リクナビ」に適性試験業務を委託する費用など。

Q 職員採用試験の受験者数と採用者数は。

A 令和4年度の受験者数は、一般行政職の大卒36名、高卒5名、栄養士2名（再募集）、消防7名。
採用者数は大卒8名、高卒3名、栄養士1名、消防3名。

議会の視点

行政需要を見据えた適正な職員の配置や年齢構成のバランスに配慮した人員配置が求められる。

◎子ども伴奏プロジェクトPR事業委託料

1250万円

概要 首都圏の子育て世代に対して、本市への移住につながる目的で展開する、子育て支援施策をPRする事業の委託料。



東京都内で開催されたイベント

Q 本事業の効果はあったか。

A SNSのフォロワー数が約1万人、ウェブサイトの閲覧者数が約47万人となり、事業を実施した3年間で増加している。

Q 子育て世帯で移住した世帯はあるか。

り困難な箇所もある。現時点では現行ルートと同じ乗降場所を想定している。

議会の視点

小砂川線は12月1日からコミュニティバスとデマンド交通による運行開始が予定されている。それぞれの利用方法について、地域住民への丁寧な説明が求められる。

◎認知症の予防にも期待

軽・中等度難聴者補聴器購入費助成事業 100万円

概要 認知症やうつ病の予防、経済的負担軽減を図るため、補聴器購入額の2分の1（上限5万円）を助成するもの。

Q 軽・中等度の方を対象とした理由は。

A 重度の方は身体障害者手帳を交付され、別制度での給付がある。今回の助成は、治療による回復が見込めないと診断された方で手帳の交付対象とならない場合が対象となる。



◎直接移住に繋がった方はいないが、イベント参加者で本市を訪問した方はいる。一定の効果はあったと考える。

議会の視点

事業をはじめて3年目を迎えるが、その効果をどのように捉えるべきか。辛抱強く継続か、角度を変えた新しいアイディアの模索も必要ではないか。

◎獅子ヶ鼻湿原緊急調査事業

558万円

概要 天然記念物であるコケ群生地への悪影響の有無などの調査を実施。調査期間は、令和2年からの3年間。

Q 調査の結果、コケを覆う落ち葉を寄せることはできるのか。

A 落ち葉を除去しても以前のきれいな状態に戻らない可能性がある。調査の際、除去実験を行ったが、データ不十分のため、今年度もモニタリング調査を実施する予定だ。

◎中山スキー場がスノーパーク形態へ 管理運営費

107万円

概要 今期から雪遊びなどの公園的な運営を試みるための人件費や光熱水費などの経費。

議会の視点

永年市民に親しまれてきたスキー場が、試験的に新たな形態で営業を開始する。今後も市民の憩いの場となるよう、事業の継続を望む。



令和4年度雪遊び

◎専門職員の育成へ 文化財保護管理費旅費

33万円

概要 奈良県で開催される埋蔵文化財担当職員向け研修に参加するための旅費など。

◎水道事業会計

純利益 88万円

Q 水道料金の値上げの考えは。

A 7月から8月に開催した公営企業運営審議会において、料金改定はやむを得ないとの答申を受けている。

Q 改定時期や値上げ幅は。

A 令和6年度の想定だが、現段階では時期や改定額は未確定である。

議会の視点

水道事業での純利益は年々減少している。近年の燃料費、電気料の高騰により経費の増加も一因だ。料金改定となった場合、市民の家計に響く改定幅になるのではと危惧される。



Q 埋蔵文化財班ができた経緯は。

A 昨行ヒ森遺跡が発見され、今後は、景観保全型ほ場整備事業に係る調査も予定されている。市が事業主体となる初めての発掘調査となるため、新班の設置となった。

Q 今までは県からの派遣だったのか。

A 市の調査員は一名いたが、継続して専門的な知識・技術を持つ調査員が必要となるために、新たに職員の研修派遣となった。



行ヒ森遺跡調査

令和5年度補正予算の審議

令和5年度補正予算関連

◎道路橋梁費補助金

〔歳入〕▲1億7987万円

概要 申請した国庫交付金（社会資本整備総合交付金）の交付額決定額による差額の減額。

Q 金額が減額となった理由は。

A 道路改良・整備や除雪機械購入など複数の事業（総額2億1591万）を申請したが、交付決定額は3603万円。不足分は起債で対応する。交付決定になりにくい交付金だが、来年度も継続して要望していく。

◎小砂川線コミュニティバス 運行へ 運行委託料

320万円

概要 羽後交通バスの小砂川線廃止に伴い、コミュニティバスを運行する委託料。

Q コミュニティバスは各集落を回るそうだが、既存のバス停を使うのか。

A 集落の中までバスが入ることも検討しているが、車両によ

議案・賛否一覧

総務…総務常任委員会、教民…教育民生常任委員会、産建…産業建設常任委員会
予算決算特別…一般会計予算決算特別委員会(議長を除く議員14名)
○は賛成 ●は反対(※¹議長は表決しない)
簡易表決とは、可決に「異議がない」ことを会議に諮る簡易な方法のこと。

番号	件名	結果	議席番号																付託委員会
			1 高橋利枝	2 齋藤光春	3 佐々木正勝	4 宮崎信一※1	5 齋藤雄史	6 齋藤聡	7 齋藤進	9 佐々木平嗣	10 小川正文	11 佐々木孝二	12 佐藤直哉	13 佐々木春男	14 佐々木敏春	15 森鉄也	16 伊藤竹文		
7月臨時会（7月26日）																			
報 告																			
4	専決処分の報告（専決第7号）	-																	
5	専決処分の報告（専決第8号）	-																	
議 案																			
53	令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
9月定例会（9月1日～20日）																			
報 告																			
6	専決処分の報告（専決第9号）	-																	
7	健全化判断比率及び資金不足比率の報告	-																	
8	専決処分の報告（専決第10号）	-																	
議 案																			
54	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	
55	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	
56	固定資産評価審査委員会委員の選任	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	
57	人権擁護委員候補者の推薦	同意	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	-	
58	にかほ市アウトドア拠点施設条例制定	可決	簡易表決													産建			
59	にかほ市特定公共賃貸住宅条例の一部を改正する条例制定	可決	簡易表決													産建			
60	にかほ市火災予防条例の一部を改正する条例制定	可決	簡易表決													総務			
61	市道路線の廃止	可決	簡易表決													産建			
62	市道路線の認定	可決	簡易表決													産建			
63	にかほ市過疎地域持続的発展計画の変更	可決	簡易表決													総務			
64	令和4年度にかほ市一般会計歳入歳出決算認定	認定	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算決算特別	
65	令和4年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定歳入歳出決算認定	認定	簡易表決													教民			
66	令和4年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定歳入歳出決算認定	認定	簡易表決													教民			
67	令和4年度にかほ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	認定	簡易表決													教民			
68	令和4年度にかほ市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	簡易表決													産建			
69	令和4年度にかほ市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	認定	簡易表決													産建			
70	令和4年度にかほ市水道事業会計決算認定	認定	簡易表決													産建			
71	令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第6号）	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	予算決算特別	
72	令和5年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算（第1号）	可決	簡易表決													教民			
73	令和5年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算（第2号）	可決	簡易表決													教民			
74	令和5年度にかほ市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	簡易表決													産建			
75	令和5年度にかほ市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	簡易表決													産建			
76	令和5年度にかほ市水道事業会計補正予算（第1号）	可決	簡易表決													産建			
77	令和5年度にかほ市一般会計補正予算（第7号）	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
議提など																			
6	事務検査に関する決議	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	
7	森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	

条例などの審査

●にかほ市過疎地域持続的発展計画の変更

概要 過疎法に基づく過疎対策事業債を活用するため、事業項目の追加・変更を行い、対象事業の拡充を図るもの。

Q 既に事業開始している財源の確保が目的か。変更協議のタイミングはいつか。

A 当初予算で計上したものを追加した。変更時期の定めはない。

議会の視点

過疎債は、財政支援が厚く、有利な起債とされている。今後も、国の起債の動向に注視する必要がある。

●市独自の活用が可能に 特定公共賃貸住宅「下山」 を一部用途廃止へ

概要 入居希望がない状況が続いている住宅の一部の用途を廃止するもの。廃止後は商工政策課へ所管替えとなる。

Q 今後応募があると考えているのか。

A相談があっても要件が合わず、入居に至らないケースもある。今後は市で要件を設定可能なため、住宅として活用できると考える。



特定公共賃貸住宅「下山」現場踏査

議会の視点

市営住宅から使用目的を変更し、他事業への有効活用が可能になった一例となる。今後の住宅活用の経過を注視することにも期待したい。

●アウトドア拠点施設の条例を制定

概要 現在整備中のアウトドア拠点施設の設置目的、名称、機

能や使用目的などを定める条例を制定するもの。

Q 指定管理者の想定は。

A アウトドア用品販売会社を想定しているが、今後開催される審査会で決定する。

Q 指定管理期間を5年とした根拠は。

A 現在市で導入している指定管理施設を参考にした。

議会の視点

拠点施設の整備による道の駅エリア周辺並びに市内への観光客の増加、関係人口の創出が期待される。今後の観光施策の展開を注視する。



建設現場の様子（9月末段階）

●議提第7号 可決

森林環境譲与税の譲与基準の見直しを求める意見書

審査概要 令和元年度に創設された森林環境譲与税について、森林整備費用の不足が見込まれる地方への譲与基準を見直すよう求めるもの。



アウトドア拠点施設完成予想図（国道7号側）

各施設の維持管理費の推移を注視

旧上郷小学校
旧上浜小学校
エスパーク★にかほ など



2番
齋藤光春 議員

地域経済活性化、交流人口の拡大、人口減少対策などを狙いとした事業にかかる事業費及び施設の維持管理費の増加がみられる。今後、これらの事業の生む経済効果はどうか。財政の負担にならないか心配である。

避難場所を新たに設置

塩焚浜急傾斜地避難路
整備工事

2300万円



1番
高橋利枝 議員

ハザードマップでも特に危険地帯とされている塩焚浜地域に避難場所が新設された。万が一の場合、既存施設まで距離があり、また坂の多い地域では、特に高齢者には不安だったと思う。近くの避難場所は安心感がある。



地域活性化の一環として

飲食応援消費還元事業
(おでかけレストラン・おうちでレストラン)
7776万円



5番
齋藤雄史 議員

コロナ禍において、飲食店を含む地域事業者への客足回復と市民への消費の促しを図ることを目的とした事業で、効果があり好評であった。

アフターコロナにおいても、再開を望む声がある。市の今後の対応に注目したい。

若者の集まるにかほ市に

スケートパーク施設整備事業
4243万円



4番
宮崎信一 議員

スケートパークが開設して市内外から多数の若者達が利用しているようだ。

今年10月からは増設工事が始まり、より良い施設となる事を期待する。

地域防災の担い手となる 防災士育成を

防災士育成事業補助
9万円



3番
佐々木正勝 議員

防災士には、地域の自主防災組織や消防団活動への参加などを通じた防災啓発活動などが期待される。

災害に強いまちづくりに貢献する防災士の育成を。

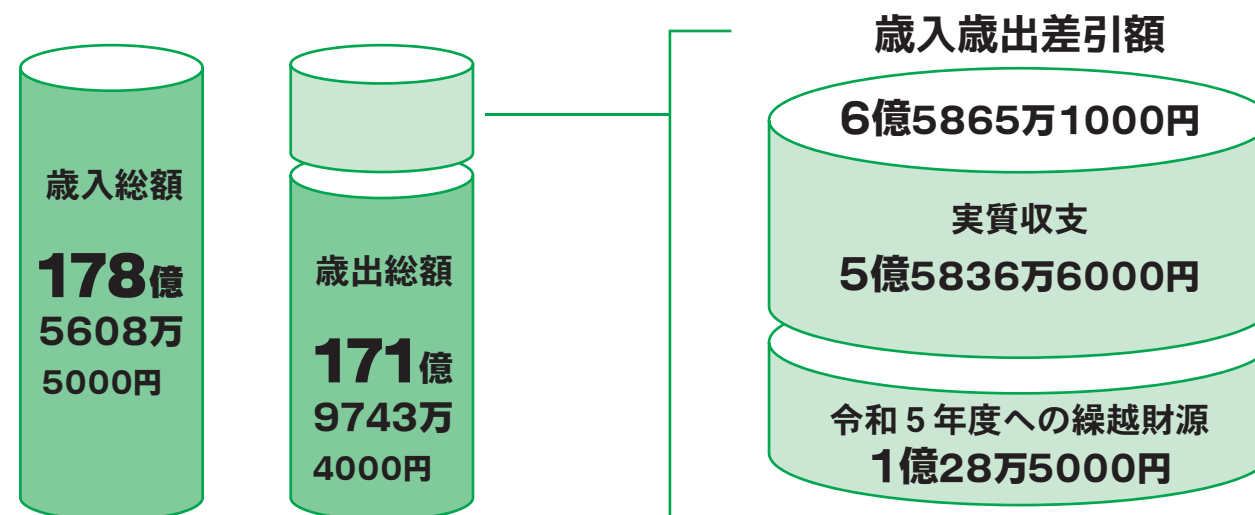


議員が注目 令和4年度決算

年4回開催される定例会のうち、9月議会は「決算議会」とも呼ばれています。今定例会で認定された令和4年度決算のうち、議員15名が注目した事業について、各議員の意見もあわせてお知らせします。

にかほ市一般会計の収支は？

～ 実質収支は5億5836万円6000円の黒字 ～



詳細は広報にかほ10/1号をご覧ください



まだ改善の余地あり

保育士・幼稚園教諭等処遇
改善臨時特例事業補助金
1288万円



13番
佐々木春男 議員

2021年度の保育士の平均年収は、全産業平均と比べ月額9万円近い差がある（厚労省「賃金構造基本統計調査」）。
高い専門性を必要とする保育士にふさわしい処遇にはまだ改善の余地がある。

オーロラ映像機器 リニューアル

オーロラドームプロジェク
ター等更新業務委託料
536万円



12番
佐藤直哉 議員

白瀬南極探検隊記念館で上映されるオーロラ映像は、平成2年の開館以来、多くの入館者に楽しまれてきた。
今回の映像機器システムの更新により、これまで以上に高画質な映像をご覧いただくことが出来るようになった。

子育て環境の整備を 更に拡充

病児保育施設整備事業
88万円



16番
伊藤竹文 議員

病後児保育に続いて病児保育事業の整備が進む。
令和4年決算では繰越になったが、令和5年度の補正予算に建物建設費が計上された。年度内に着手し、令和6年10月頃の開所予定とのこと。
若い世代の子育て支援に大きく貢献できると期待している。

令和6年4月 本格オープンへ 旧上郷小学校利活用事業 7710万円



15番
森 鉄也 議員

管理運営事業者は「㈱ダイキホールディングス」に決定。
1階 カフェ、マルシェ
2階 外国人留学生の日本語学校開校
3階 少人数向け宿泊施設
サウナ棟 宿泊客・地域住民用サウナ
グラウンド
オートキャンプ、イベントなど交流の拠点
地域の活性化につながるよう、事業者のノウハウに期待する。

運営開始の準備段階へ 校舎整備・トータルプロ デュース完了

旧上郷小学校利活用事業
7710万円



14番
佐々木敏春 議員

旧上郷小学校校舎の改修工事や各種ソフト事業が完了し、運営開始の段階を迎える。
地域や世代を超え、人々が集まる地域の中心施設に育て上げたい。

天然記念物「九十九島」 と避難道路

象潟大竹線道路改良事業
5100万円

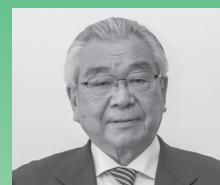


9番
佐々木平嗣 議員

大竹地区から象潟に降りた時に見られる天然記念物「九十九島」の絶景を、地元の方に認識していただくまちづくりの道路になる。
最近では地震情報がよく見られる。大きな地震対策のためにも、避難道路として最適な道路ではないかと思う。

見違えるようになった 潮風通り

潮風通りフェンス新設
事業 513万円



11番
佐々木孝二 議員

劣化したフェンスが取り外され、新設の地区要望が令和4年の予算に計上され、綺麗なフェンスとして復活した。長さ116m潮風通りの景観も変わり、地域の方たちも大変満足そうだった。地区要望がより多く予算化され、綺麗な街づくりになるよう願う。



夢の持てる農業構想を

一次産業支援事業
（農業支援金）
4388万円



10番
小川正文 議員

米価の低迷、農業従事者の高齢化、後継者の不足、肥料・農薬などの価格の高騰、燃料費の高騰など、農業を取り巻く状況は今までにない位に厳しい状況になっている。
支援がいつまで続くのか見通しはないが、今までにないような夢の持てる農業の基本的な構想が必要ではないか。

アウトドアアクティビティの 推進に期待

先進的の海洋センター整備構想
支援業務委託料 495万円



6番
齋藤 聡 議員

人口減少が加速する現状で財源確保が難しい中、有益な交付金などを検討し、今後の竹嶋潟周辺整備などアウトドアアクティビティの推進に期待する。
将来的に負担とならない整備を望む。



多彩なアイディアの 創出に期待

ワーケーション推進事業
3231万円



7番
齋藤 進 議員

関係人口の創出には、ワーケーションフィールドがカギを握る。ワークの環境は、空き家の利活用により地域とのコミュニティの醸成に繋げ、バケーションの環境は、冬季間のメニューが重要なポイントになる。

録画配信



9月定例会では5人が登壇しました。
※本会議の様子は議会ホームページからオン
デマンド（録画）でご覧いただけます。

…議員が定例会にて行う行政事務全般についての質問

一般質問

もり 森 議員	1. 白幡森周辺エリア基本構想について 2. 消防団員の確保と処遇改善について 3. マイナンバーカードについて	P. 12
さいとう 齋藤 議員	1. 子どもが多様に遊び、学べる環境整備について	P. 13
ささきまさかつ 佐々木正勝 議員	1. 熱中症予防対策について	P. 13
ささきはるお 佐々木春男 議員	1. 健康保険証の廃止方針は撤回すべき 2. 給食費の無償化を国に求めながら市でも実施すべき 3. 自衛官募集の名簿提供は中止すべき	P. 14
さいとう 齋藤 議員	1. にかほ市の観光産業振興策について 2. 社会的弱者への支援対策について	P. 14

白幡森周辺エリアまちづくりの市の役割と財政負担は

市長 重要施設の主要道路、公園は市の負担で整備する

もり
森 議員

てつや
鉄也 議員

問 基本構想における市の役割と財政負担などの想定は。

市長 重要施設にあたる主要道路、公園は市で整備する必要があります。用途地域の見直しや法定手続を進めながら、年次計画を策定し、整備手法の検討を進める。

問 若者支援住宅整備計画に求める必要性及び役割は何か。

市長 市が取り組もうとしている人口減少、少子高齢化の抑制、良好なコミュニティ形成による地域活性化、そして次世代を担う人材の確保を図る上で、若者支援住宅に求められる基本的な役割は何ら変わることがないと考えている。子育て世帯や移住者世帯を含む少人数向けの整備と単身世帯の需要バランスを考慮しながら、必要戸数の整備について国及び県と協議を進めている。

問 持続可能な消防団員確保に向けた対策は。

市長 若年層の入団者の減少により、相当の年齢まで団員を継続しなければ団活動が継続できない現状にある。

現在、消防団組織検討委員会を立ち上げ、若年層の団員確保や団員が活動しやすい体制づくり、組織の強力を図るための再編計画策定に取り組んでいる。

問 消防団員の処遇改善への考えは。

市長 一般団員の報酬は、令和5年4月1日現在、県内25市町村中17番目。県平均額2万9156円を8000円ほど下回っている。災害は多発化、激甚化し消防団員の役割が大きくなっている現状から、適切な処遇の検討が必要と考えている。

市長

設置の必要性を調査したい

多様な子どもたちが遊べる遊具の設置を



録画配信

問 子どもが遊べる児童遊園、公園の整備について、公園マップの作成、インクルーシブ遊具※設置の検討を。

市長 子どもたちが身近な地域で遊べる場所そのものは少なくないと考えている。今後、ウェブを活用して公園の位置図や特徴を掲載するなど、分かりやすく親しみやすい周知方法を検討をしていきたい。

インクルーシブ遊具に関しては、多様性を受け入れ、少しでも子どもたちの体験機会の格差解消に取り組む必要がある。毎年、遊具の修繕や更新などを実施しており、インクルーシブ遊具の設置の可否についても調査をしていきたい。

※インクルーシブ遊具：体の障がいの有無を問わず一緒に遊ぶことのできる遊具

問 子どもたちが自然の中で遊べるようにA Iカメラなど先端技術を活用した環境整備の考えは。

教育長 教育委員会と学校は、児童・生徒の命を守るものが何よりも優先され、安全第一に学校内、校外での過ごし方を指導している。河川、河川敷を活用した安全対策を施した新たな環境、遊び場の整備は考えていない。自然との触れ合いについては、学校管理下における授業や野外活動、宿泊研修といった機会を捉えて、体験の場面を設けていくことが望ましいと考える。

市長

声かけ見守り巡回事業時にチラシ配布などで対応

高齢者の熱中症予防行動の周知は



録画配信

熱中症予防について

問 熱中症警戒アラートが連日発表されている中で、一人暮らし高齢者の死亡事故が発生した。この事故をどのように受け止めているか。

市長 この事故については、本人の心身状況、生活環境など、詳細が不明であるため、予防できなかったできなかったかとは一概に言えないが、改めて熱中症予防の取り組みの重要性を感じる。

問 熱中症予防行動として、エアコンがない世帯のとりべき行動を、どのように周知しているか。

市長 例年6月から主に75歳以上の高齢者のみの世帯を対象に実施している高齢者等声かけ見守り巡回事業において、チラシを配布し、自分の体の変化に早めに気付くことの大切さを周知している。

エアコン助成の考え

問 熱中症予防を目的に、経済的な理由で自宅にエアコンがない世帯に、エアコンの購入・設置費用を助成する考えはないか。

市長 本市の市民福祉部や社会福祉協議会、ケアマネージャーのもとには、エアコン購入助成の要望は直接は寄せられていない。生活保護制度、セーフティネットとしての中での個人的な助成制度はある。





佐々木 春男
議員

問 保険証の廃止方針撤回を
マイナンバーカードと健康保険証の一本化によって、他人の保険情報を基に診察処方が行われれば、命に関わる事故が起きかねない。健康保険証の廃止方針は撤回すべき。

市長 岸田首相は情報のひも付けの総点検と修正作業の状況を見極めると述べている。それらを踏まえて、国民への十分な説明を行いながら健康保険証の廃止時期を判断されることを望む。

学校給食の無償化を

問 憲法第26条に「義務教育は、これを無償とする」とあるとおり、給食も教育活動の一つであるため無償とされるべきである。国に全国的な無償を求めながら、本市においても取り組むべきではないか。

教育長 現状では検討はしていない。給食の無償化は国が実施すべきものと考え、要望事項として

マイナンバーカードと健康保険証の一体化は撤回を

市長 国による国民への十分な説明と、判断を望む



録画配信

市長会を通じて働きかけを継続する。

自衛隊員の募集業務

問 自衛隊員の募集業務をめぐる国の地方自治体への働きかけが「プライバシーを侵害している」などとして提供をやめるよう住民の運動が広がっている。自衛隊への個人名簿提出は中止すべきと考えるが、見解を伺う。

市長 本件については法令及び国からの通知に基づき提供するものであり、適正な情報提供と認識をしている。



観光スポットの改善に向けた調査・視察と指示はしているか

市長 視察して状況把握して指示し、常時担当者と意見交換をしている



録画配信

にかほ市の観光産業振興策について

問 観光客減少の要因と観光客入込み数のカウンターの仕方伺う。

市長 日本の人口減少と団体旅行から少人数旅行へのシフトが大きな要因。体験型旅行や個人旅行は増加が見られる。

観光課長 入込み数は、レジカウOUNTERのレシート、各スポットの管理人によるカウンタ数に係数をかけて算出している。

問 観光スポットのブラッシュアップの例は。

市長 コンテンツ開発や受け入れ体制の整備、プロモーション、SNSでの情報発信、県との連携などでブラッシュアップに努めている。

問 カヌーを推奨する竹嶋潟の水質改善の必要性は。調査や視察の状況は。

市長 恒常的に私も視察し、常に担当と意見交換

し、指示をしている。

商工観光部長 観光スポットは優先順位をつけて整備や改善など全力で行っている。

問 観光協会の補助金交付の査定の際、提示された具体的事業計画は。また査定基準は。

商工観光部長 具体的事業計画は協会の総会資料を。商工会とは組織規模が違うため事業費と運営費を分けるのはナンセンスだ。

公営住宅の

施設整備について

問 公営住宅居住者が亡くなり熱中症が原因とみられている。若者支援と同様、社会的弱者への新たな支援を進める考えはないか再度伺う。

市長 既存の制度で取りこぼさないよう支援に取り組んでいく。



議場へようこそ 中学生が議会を傍聴

中学生への主権者教育の一環として、「総合的な学習の時間」を利用した議会の傍聴が行われました。

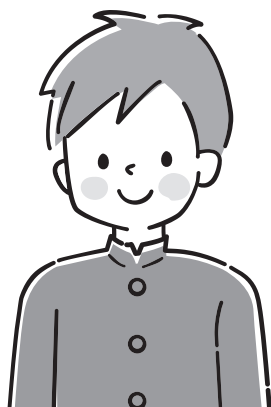
象潟中学校3年生10名が議場で一般質問の模様を傍聴し、参加した生徒から感想をいただきましたのでご紹介します。

初めて市議会のような様子を見ることができました。最初に驚いたことは資料を電子化してタブレットを活用しているところでした。一問一答の形でしたが、議員の不明な点については市長だけでなく市の担当者が代わりに回答している場面もありました。

私はしっかりと話を聞こうと努力していたのですが、議会独特の言い回しがあって内容がすごく難しく感じられる部分が多かったと思います。でも何について質問しているのかが明確で、調査やアンケートの結果など根拠となるものを示していて、説得力を持たせていると感じました。

回答の方も市長自身の考えや感じていることを混ぜながら質問に回答していました。私たちのやっている生徒総会と形は似ていたけれど、質問や回答がとても明確だと思いました。

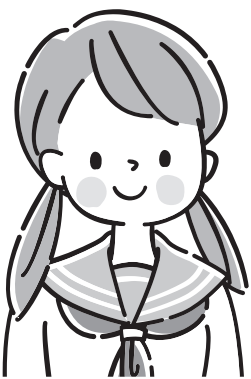
象潟中学校3年 中村徳希さん



市議会を見学してみて、市議会では何をしているのかが分かりました。難しい話が多かったのですが、市をよりよくするために真剣に参加しているという感想をもちました。質問に対してすぐに応えていることや、話し合いがスムーズであることや、一つ一つの発言に自分の考えと理由を言っているのが納得しやすいということがとても参考になりました。

また自分の感想だけでなく調査結果をきちんと考えた上で意見を出していることがすごいと思いました。

象潟中学校3年 原 彩夏さん



議会活動報告

8/2～3	東北日本海沿岸市町村議会協議会要望活動
8/9	秋田県後期高齢者医療広域連合議会 8月臨時会
8/25	議会運営委員会
9/1～9/20	第7回定例会
9/1	正副議長・正副委員長会議
9/6	議会運営委員会 広報広聴委員会
9/19	由利組合総合病院運営委員会
9/20	議会運営委員会
9/26	にかほ市・遊佐町議会議員協議会 広域観光部会研修会
10/3～5	産業建設常任委員会行政視察
10/4	各期成同盟会要望活動
10/11	広報広聴委員会 秋田県後期高齢者医療広域連合議会 10月定例会
10/12～13	各期成同盟会要望活動
10/24	羽越本線高速化シンポジウム

掲載した他にも、市内外の行事等へ出席しています。

12月定例会の予定

11/28(火)	本会議(市政報告、議案説明ほか)
11/30(木)～12/1(金)	本会議(一般質問)
12/5(火)	本会議(議案質疑、議案付託ほか)
12/5(火)～11(月)	常任委員会(予算特別小委)審査
12/12(火)	本会議 (委員長報告、討論、採決ほか)

※日程の変更は、議会HPにてお知らせします。
※傍聴の際は、マスクの着用や手指消毒にご協力ください。

議会事務局 TEL 43-7511



にかほ市・遊佐町議会議員協議会 広域観光部会研修会



にかほ市 院内油田跡 ポンピングパワー

鳥海山・飛鳥ジオパークのジオサイトの視察研修を行いました。

議会だより、市議会へのご意見、 市民の声をお寄せください。

郵送 〒018-0192
にかほ市議会事務局 宛て
メール gikai@city.nikaho.lg.jp
FAX 0184-43-7513

お手紙、FAX、
メールで

広報広聴委員会

委員長	齋藤 進
副委員長	佐々木 正勝
委員	高橋 利枝 / 齋藤 光春 佐々木 孝二 / 佐々木 春男 森 鉄也 / 伊藤 竹文

編集後記

今年も暑い日が続きました。近年は暑い日数も長くなっていると感じます。今年は「灼熱化現象」という言葉も出ました。今議会、傍聴に来てくれた中学生が大人になるまでにこの問題は解消できませんが、この子たちの力も借りて、全力で「灼熱化」解消に向けて取り組むことが求められています。

9月議会で可決された一般会計補正予算の中に、「補聴器購入補助」の項目がありました。補聴器は「認知症の進行を遅延する」効果もあるという研究結果もあります。1月に実施した室沢老人クラブと議員との懇談の際、「若い人の支援は多いが、高齢者の支援は少ない」と補聴器に関連しての声もあるなかで、今回の予算措置は県内では極めて速い対応で、市政の姿勢を感じさせられるものでした。

広報広聴委員会

佐々木 春男